

単元名 しぜんを見よう・生き物を調べよう

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 生き物の姿の違いを理解するとともに、器具などを正しく扱って観察を行い、その結果を分かりやすく記録することができる。
- (2) 身近な生き物について、差異点や共通点を基に問題を見だし、表現するなどして問題解決することができる。
- (3) 身近な生き物について、進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

標準的な展開例

03050101_001

【準備等】タブレットパソコンやデジタルカメラ、ものさし、虫眼鏡

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 身近な自然に接する活動を通して、問題を見だし、単元の学習課題をつかむ。</p> <p>★理科の学び方を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○春になり、校庭や野原で変わったところを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・サクラが咲いていた。 ・ナナホシテントウを見付けた。 ○生き物について五感を使って観察することを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・チューリップの花の中を近付いて見ると、黄色い部分や星の形をしたものがある。 ・ナナホシテントウを下から見ると、体の色が黒い。 ○虫眼鏡の使い方を知る。 <p>○野外で観察するときの服装や注意することについて知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼうし ・虫眼鏡 ・長袖の服 ・長ズボン ・観察カード <p>2～3 春の校庭や野原に出て、身の回りで見られる植物を詳しく観察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最近見かける生き物を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・アブラナやタンポポが咲いていた。 ・モンシロチョウやテントウムシを見た。 ★タンポポなどのしょくぶつのすがたをくわしく見よう。 ○タンポポを見付けて、詳しく姿を見る視点を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・全体の姿の形、色や大きさを観察する。 ・花や葉の形、色や大きさを観察する。 ○写真の撮り方を知る。 <p>○タンポポを観察して気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉の形がギザギザしていた。 ・花は黄色だった。 ・大きさは、高さが15cmくらいだった。 <p>4～5 身の回りの生き物を観察し、形、色や大きさなどの姿が違うことを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タンポポ以外に見られる生き物について話し合う。 ★身のまわりの生き物は、それぞれどのようなすがたをしているのかな。 ○身の回りの生き物の姿について、どのように調べていけばよいか考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・タンポポを見たときのように、形や色、大きさを調べるという。 ○身の回りの生き物の姿を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・植物…シロツメクサ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウなど ・虫などの動物…アリ、ダンゴムシ、モンシロチョウなど ○観察の結果を整理する。 <ul style="list-style-type: none"> ・シロツメクサは花の色が白く、葉の形は丸い葉が3つ集まる形だった。 ○写真を植物や動物とに分けて、「形、色、大きさ」の視点ごとに並び替え、共通点や差異点について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ホトケノザとヒメオドリコソウは花の色が似ているが葉の形は違う。 ○分かったことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの生き物は、種類によって、それぞれ形や色大きさなどの姿に違いがある。 ○アリとダンゴムシの姿の違いを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の行き帰りや花壇の様子を想起させたり写真を見せたりしながら話し合わせる。 ・「じっくり見る」、「耳をすます」、「においをかいだり触ったりする」などを確認する。 ・観察する物が手で持てるか、手で持てないかで使い方が違うことを押さえる。 ・（安全）虫眼鏡で太陽を見ないように確認する。 ・（安全）刺したり、触るとかぶれたりする生き物がいるので、触らせないように注意させる。 <p>【評】生き物を観察するために必要なことを話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物への興味や関心を高めさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の五感を使って観察させるとよい。 ・味覚で調べることは危険があること、触るとかぶれるなどの危険があることを伝える。 ・細かいスケッチが難しいと感じる場合は写真を活用するとよい。 ・形、色、大きさなど分かりやすい視点を取り上げて話し合わせる。 <p>【評】タンポポを観察する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物と虫などの動物に分けて調べられるように分類する。 ・これまでに観察した視点（五感を使って）を想起させる。 ・（安全）危険な場所や触ると刺したりかぶれたりする生き物に注意させる。 ・虫眼鏡やものさしを活用させるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・写真を活用して整理するとよい。 ・名前が分からない生き物は、図鑑の使い方を知らせて調べさせる。 ・虫などは形が似ているもの同士を近くに並び替えるとよい。 <p>【評】身の回りの生き物を観察して違いなどを</p>

- ・体の形や色が違う。
 - ・足の数が違う。
- 6 単元のまとめをする。
- ★たんげんのふり返りをしよう。
- 「たしかめ」に取り組む。

まとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

<関連>

- ・第6学年「生物と環境」